

⑥ 腺腔様

・細胞学的定義

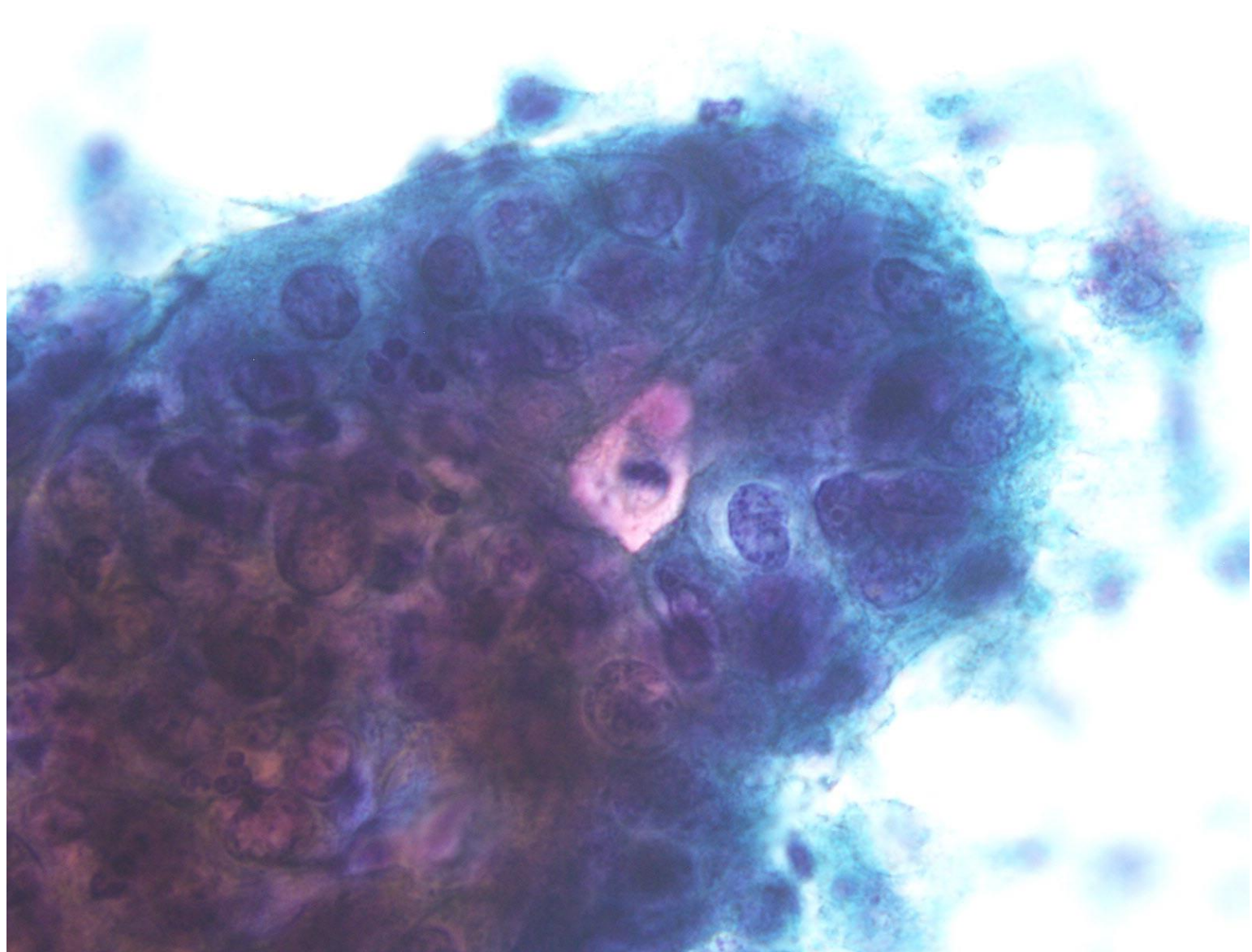
細胞集塊内に円形の空隙がみられ、細胞が空隙を取り囲むように配列している。

・組織型の推定と補足

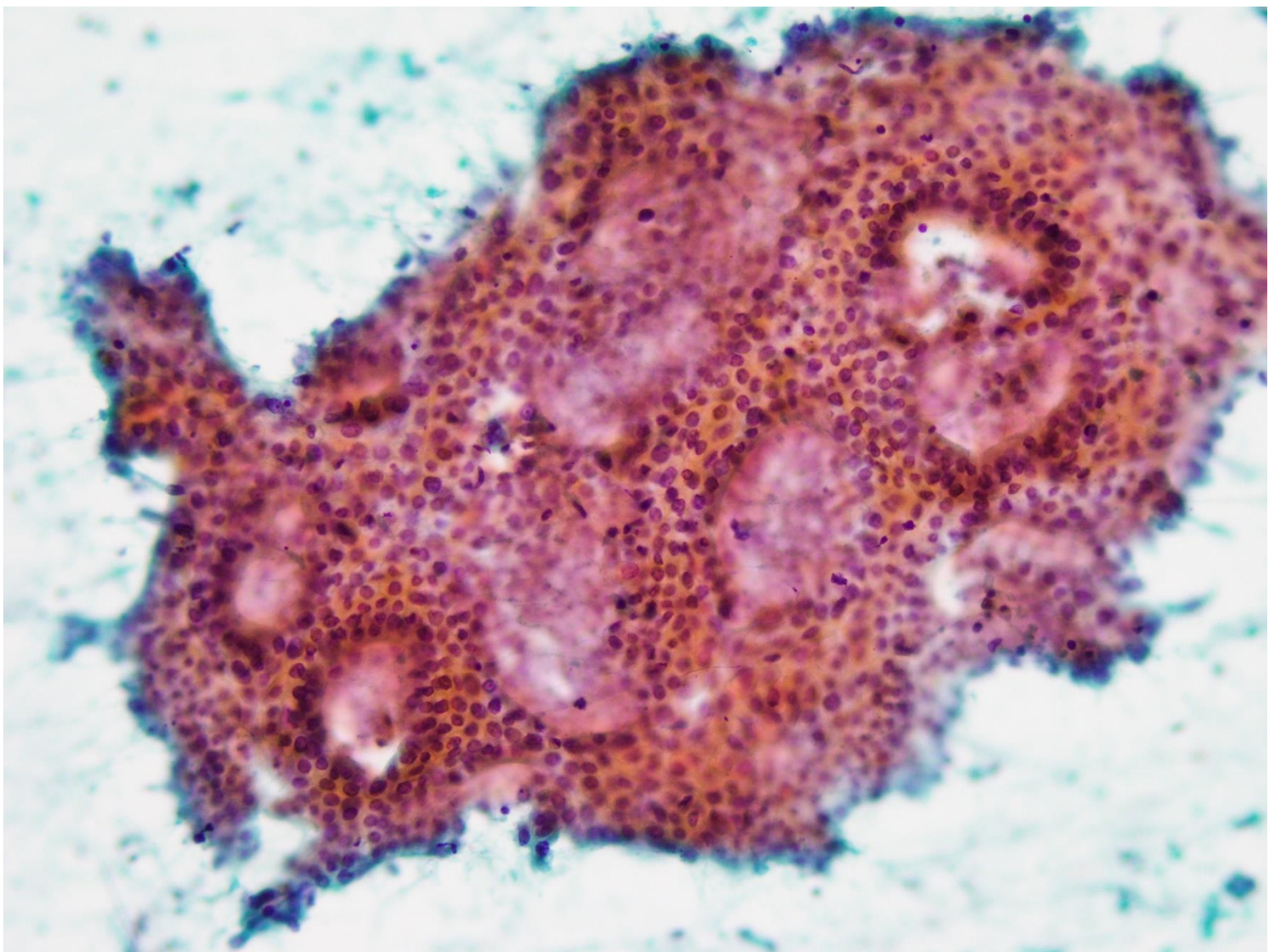
組織学的に腺癌では、腺房型(腺房状や篩状)の増殖を一部にともなう浸潤性腺癌で認められる。また、腺扁平上皮癌の一部でも腺腔様構造がみられる可能性もある。

細胞学的には例え腺癌でも、極性をもって配列している真の腺腔構造がみられることは稀である。実際には腫瘍細胞が円形の空隙周囲に配列している腺腔様構造を示すものが大部分である。今回の検討では、空隙がなく、円状やロゼット様に並んだものは除外することにした。

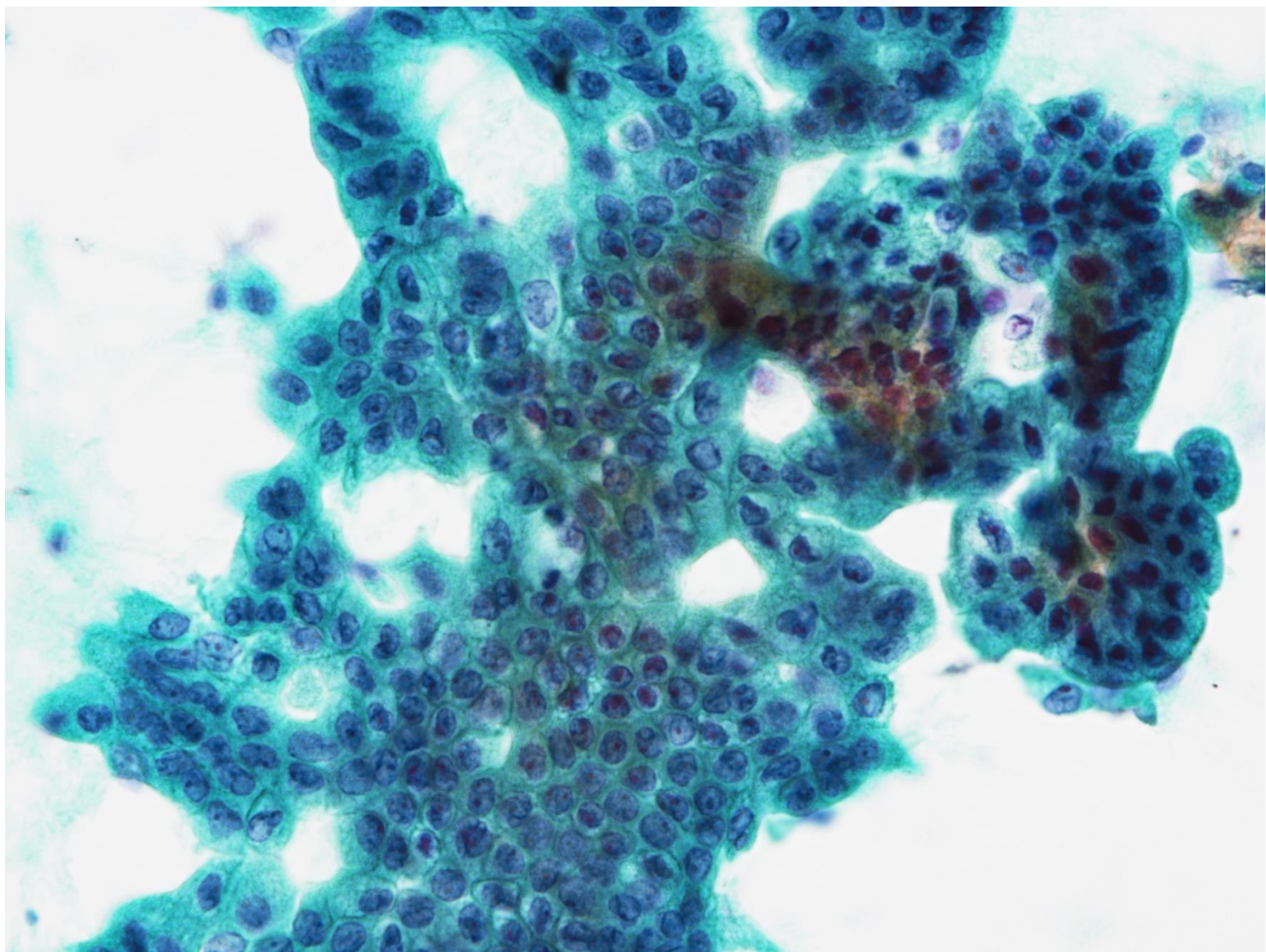
細胞学的に扁平上皮癌では、腺腔様構造をみることはきわめて稀である。



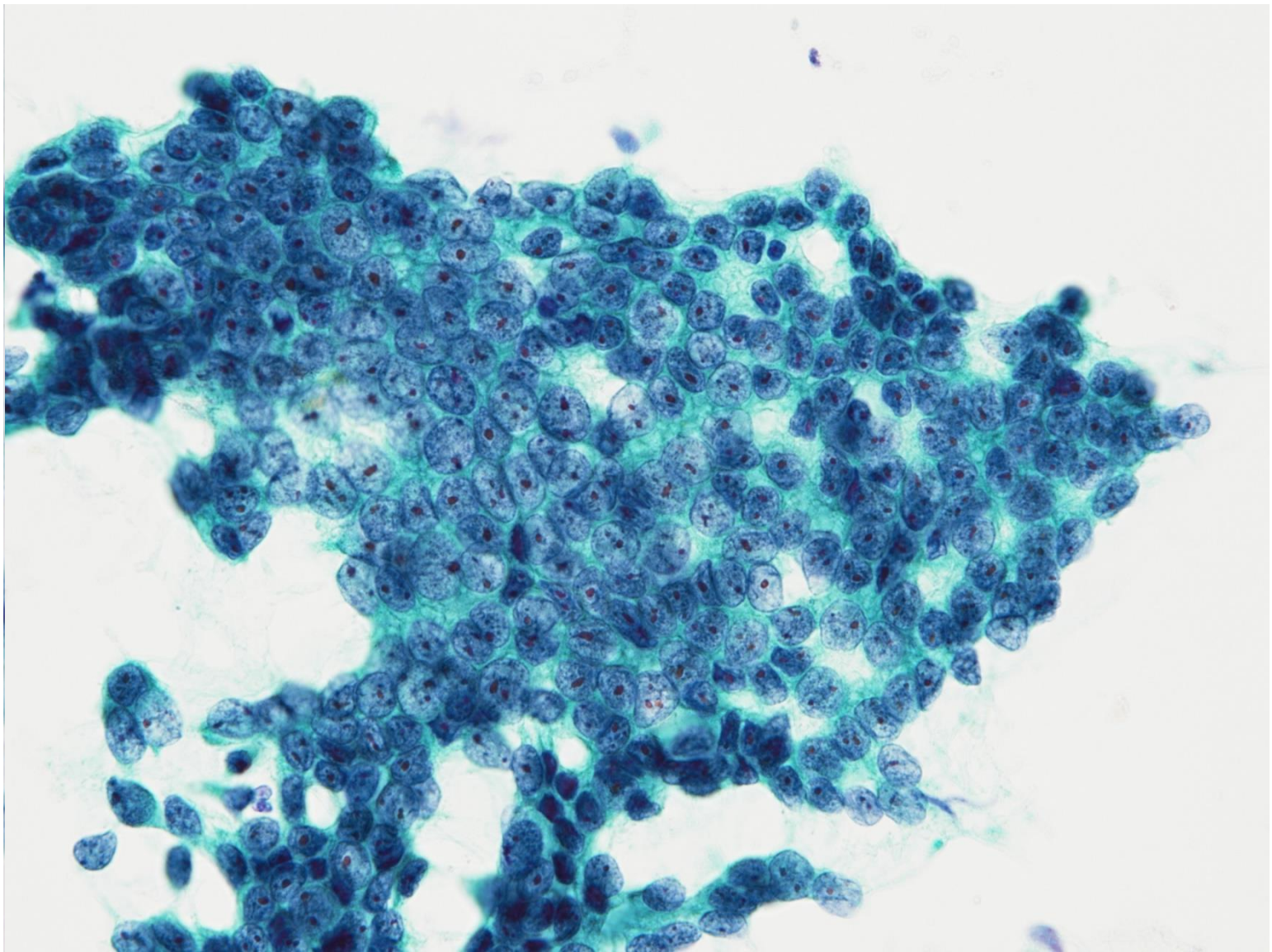
定型例 ⑥-1 (擦過、腺癌、用語の一致率100%) : 重積性を示す大型細胞集塊内では、明瞭な円形の空隙がみられ、腫瘍細胞は腺腔状に配列している。腺腔様構造と判定する。



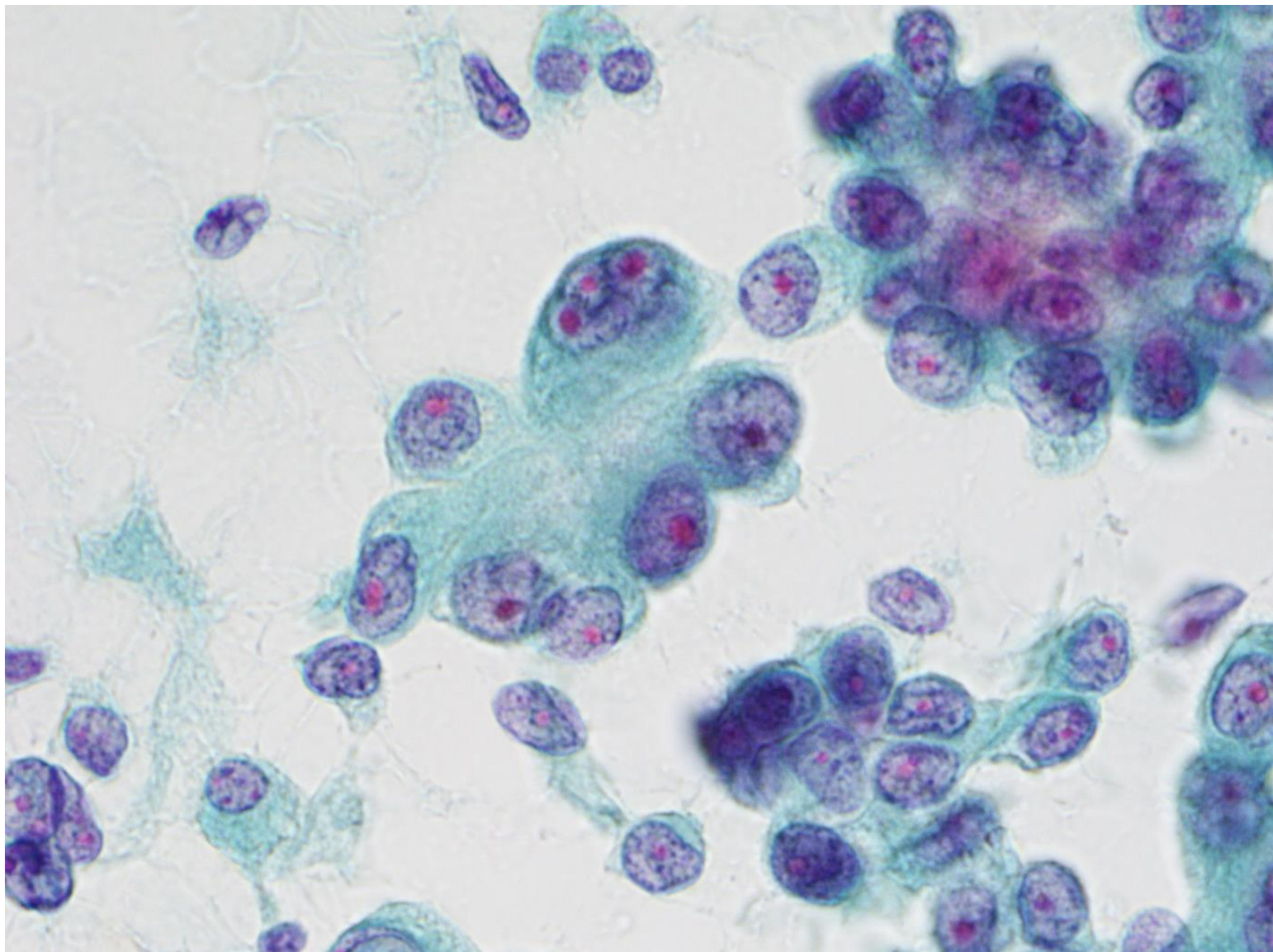
定型例 ⑥-2 (EBUS-TBNA、腺癌、用語の一致率90%) : 大型細胞集塊内には、ほぼ同じ大きさをした空隙が多数みられ、篩状構造と考える。この1個1個の円形の空隙周囲では、腫瘍細胞が極性をもって配列しており、真の腺腔構造である。腺腔様構造と判定する。



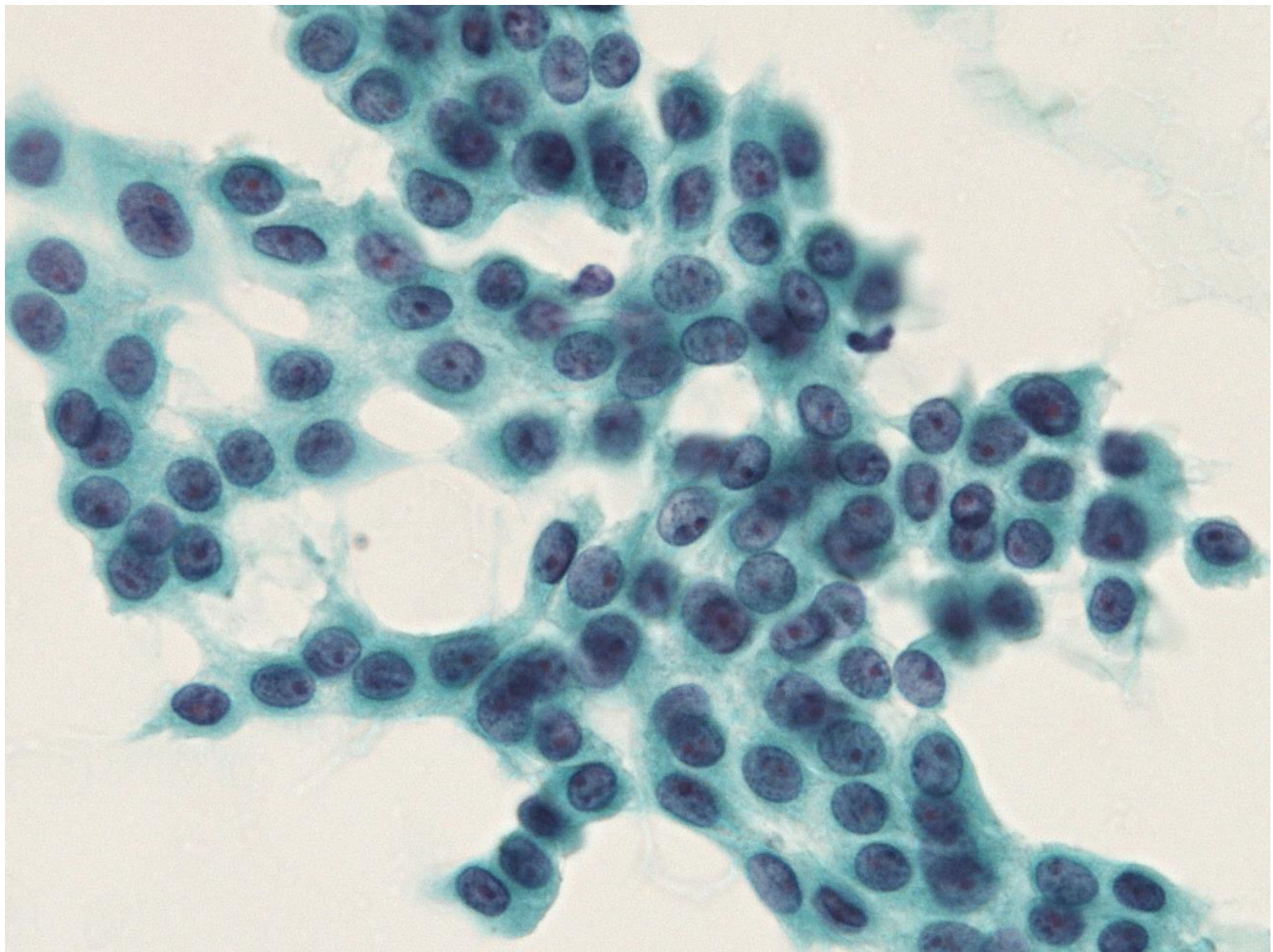
定型例 ⑥-3(洗浄、腺癌、用語の一致率100%): 大型細胞集塊内では、大きさの異なる多数の円形の空隙がみられ、篩状構造を呈している。空隙のまわりには腫瘍細胞が部分的に極性をもって配列しており、定型的な腺腔様構造と判定する。



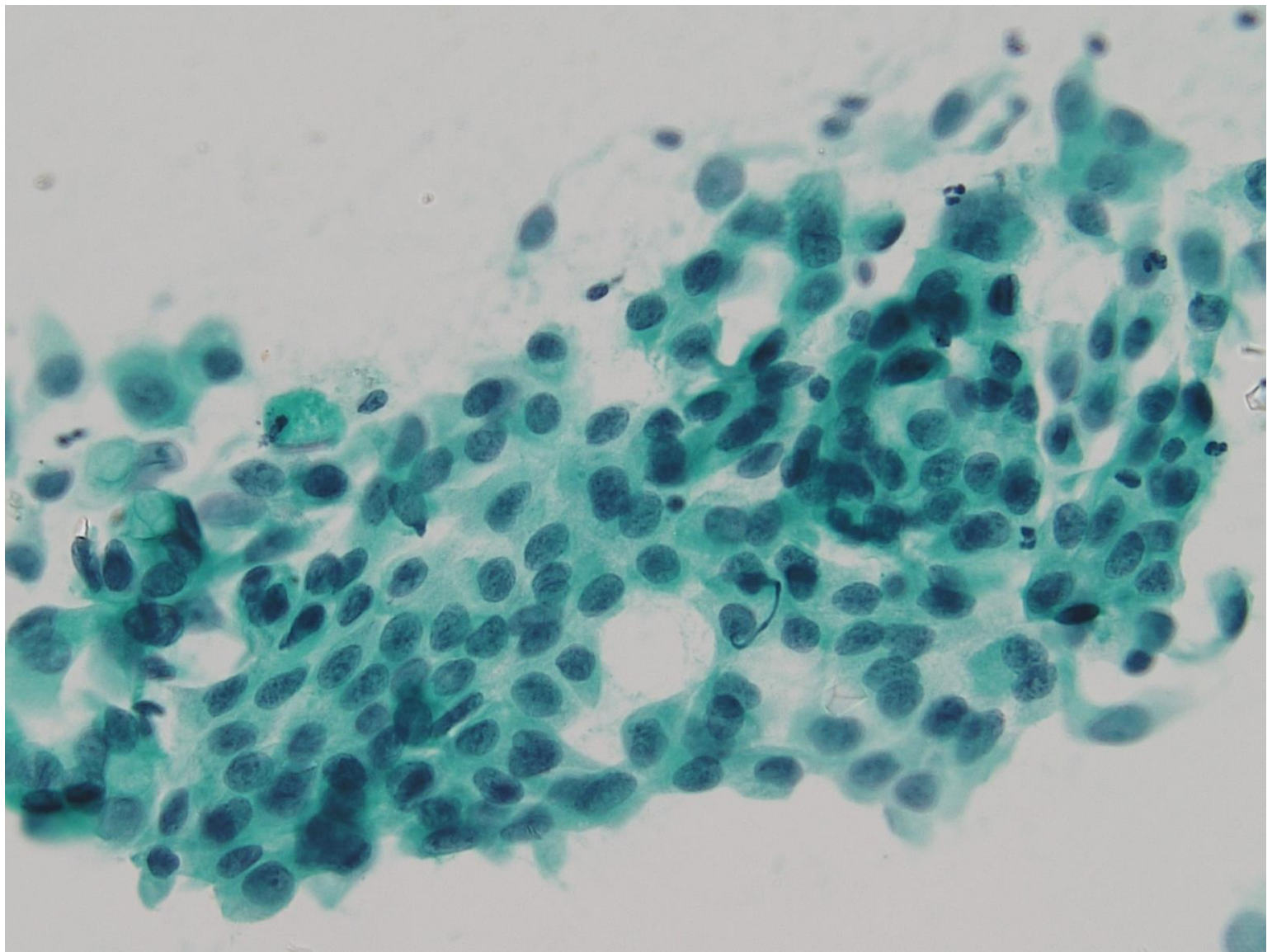
定型例 ⑥-4(擦過、腺癌、用語の一致率90%): 大型細胞集塊内では、多数の小さな空隙が認められる。この小さな空隙周囲では円状に配列する腺腔様構造だけではなく、空隙周囲でバラバラに配列している偽腺腔様構造も認められる。



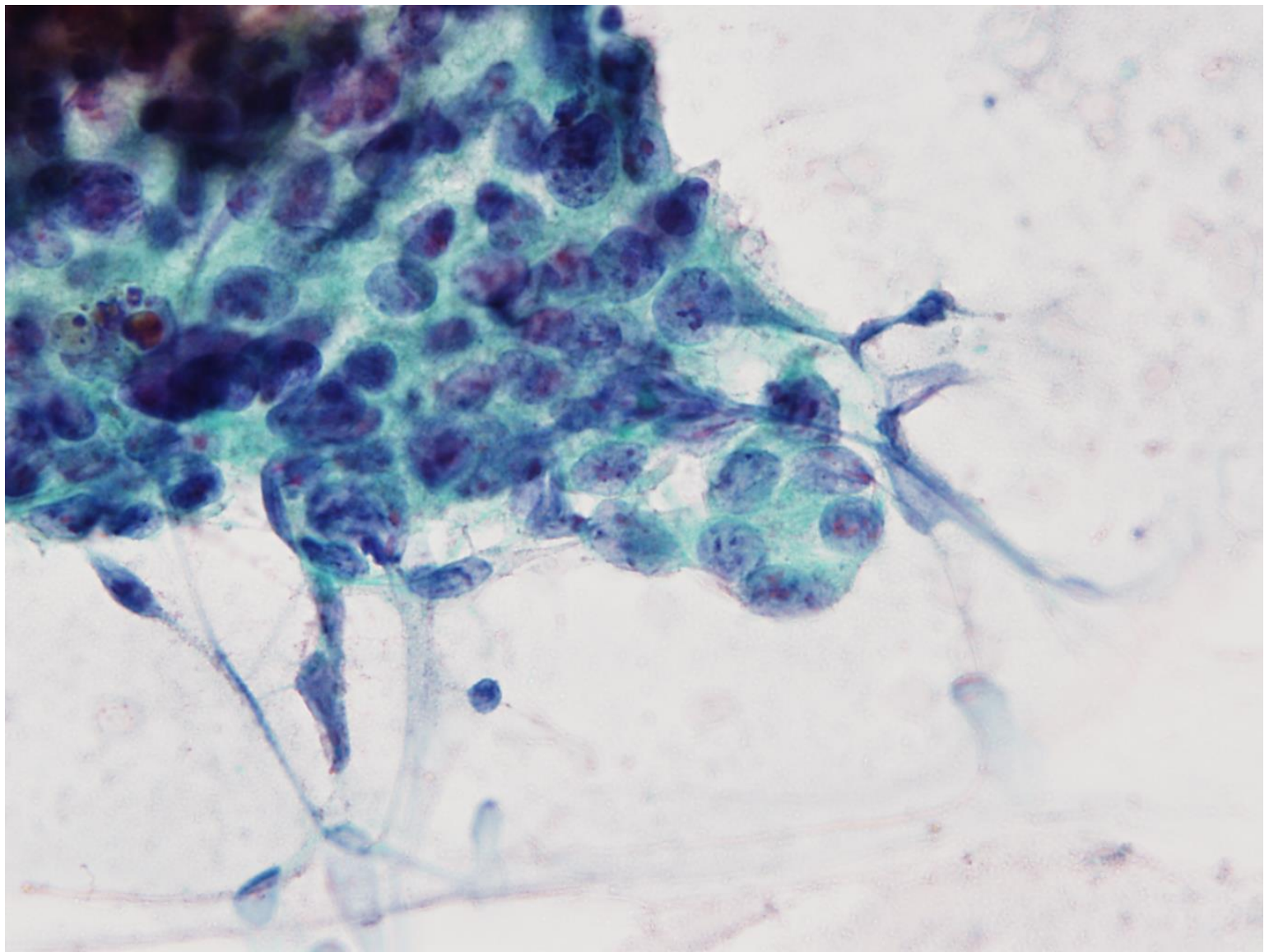
⑥-5(捺印、腺癌、用語の一致率30%): 腫瘍細胞は花びら状にならんで配列している。この集塊内には、円形の空隙がみられないため、腺腔様構造とは判定しない。



⑥-6(擦過、腺癌、用語の一致率50%) : シート状の配列を示す腫瘍細胞の集塊である。集塊内には多数の空隙がみられるが、円形の空隙周囲には円状の配列が明瞭でないため、腺腔様構造とは言えない。



⑥-7(擦過、腺癌、用語の一致率40%) : 平面的な配列のみられる大型細胞集塊内には、数か所で円形の空隙が認められる。しかし、この空隙周囲の腫瘍細胞は、バラバラに配列しているため、定型的な腺腔様構造とは言えない。



⑥-8(擦過、扁平上皮癌、一致率10%): 重積性を示す大型集塊の辺縁の一部で、腫瘍細胞が円状に配列している。一見、腺腔様にみえるが、定義で記載したとおり、円形の空隙がないため腺腔様構造とは判定しない。